

# バリアフリー の先へ



④

米国由来の「チャレンジド」という言葉がある。「神から挑戦する機会を与えられた人々」という意味で「心身が不自由でも働き、納税者になれるように」との理念につながる。社会福祉法人プロップ・ステーション(神戸市)理事長、竹中ナミ(71)は重度の障害がある娘のためにも、チャレンジドの就労支援に取り組んでいる。

竹中の娘の麻紀(47)

は脳に重い障害があり、言葉が話せず、ほとんど視力もない。生まれてすぐ保育器に入れられ、ミ

## 障害者を「働く納税者」に 娘がくれた生き方で前へ



「健常者と同等に障害者が就労する」という理念で活動するプロップ・ステーションの竹中理事長

ルクはスポイトで飲ませた。「10年は生きられな

考えるんやろう?」と不思議でならなかった。

「自分が死んだ後も娘の父は孫の将来を悲観し「この子を連れて俺が一会」を指し、1991年にプロップを設立。チャレンジドが納税者として健常者と同等に働ける

職場が必要と考えた。通常の福祉工場のように

「自分が死んだ後も娘の父は孫の将来を悲観し「この子を連れて俺が一会」を指し、1991年にプロップを設立。チャレンジドが納税者として健常者と同等に働ける

「毎朝掃除して床はいつもピカピカ。朝食時には英字新聞で情報収集。神戸の街を仕切る怖

「自分が死んだ後も娘の父は孫の将来を悲観し「この子を連れて俺が一会」を指し、1991年にプロップを設立。チャレンジドが納税者として健常者と同等に働ける

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

「子供がこんな夜遅くいる場所じゃない」と声をかけてきたのが、三宮で一番の売れっ子ホステス「椿姉さん」だった。当時、竹中の周りにいた大人たちは、水商売で働く人間を「まともな正業に就けない人たち」と半ば軽んじていた。しか

▼ストリー→「バリアフリーの先へ」

▼ストリー→「バリアフリーの先へ」

▼ストリー→「バリアフリーの先へ」

▼ストリー→「バリアフリーの先へ」